

**中国趣聞NO997 : ソロモン諸島から帰ってきました。**

1 件のメッセージ

福島香織ウェブマガジン &lt;m00146@foomii.com&gt;

返信先: kaori@kaorifukushima.com

To: 3443akira@gmail.com

[ウェブで読む](#)

2024年05月01日11時30分 配信

**中国趣聞NO997 : ソロモン諸島から帰ってきました。**

福島香織の中国趣聞 (チャイナゴシップス)

4月29日朝、ソロモン諸島から帰国しました。今回は14日から2週間余りという長期出張で、しかも、予想以上にネット環境が悪く、また交通インフラも悪く、メルマガの発行がお約束通りに出来なかったこと、お詫びいたします。

最大のトラブルはウエスタン州のギゾで発生。私は月曜の飛行機でギゾに入りその週の金曜にギゾからホニアラにもどり、ホニアラからプリズベーン、シドニー、東京に戻る便を予約していました。

ですが、ギゾに入った翌日から、飛行機が壊れてしまい、ギゾーホニアラ便がクローズしてしまいました。以降、土曜日まで飛行機は飛びませんでした。金曜の便を土曜日に振り替えてもらう手配はしましたが、ソロモンエアラインズの人に、「明日は必ずとびますよね?」と問うも、「そう望んでいる」という曖昧な答え。そして、夜にやっぱり飛ばなくなった、という電話連絡。

火曜日から飛行機が飛んでいないので、多くの乗客が飛ぶかどうかわからない飛行機に乗りたがって、連日朝8時からソロモンエアラインズオフィスの前に行列を作っています。オフィスといっても掘っ建て小屋みたいなもので、待合室もありませんから、炎天下の中外で並んでいます。

その状況を見て、ひょっとすると、土曜どころか日曜も翌週の月曜も飛行機は飛ばないかもしれない!と焦りました。

私は3日から別の日本での取材旅行予定があり、その予定はキャンセルできないので、なんとかギゾから日本へ帰る算段をあれこれたてて、もし土曜日に飛行機がとばなかったら、日曜にムンダ経由でプリズベーンにいき、そこから東京に戻る飛行機を取り直すしかない、と腹をくくりました。

ギゾはときどき、天候のせいでも飛行機が飛ばないことはあると覚悟していましたが、まさか、5日も飛行機が飛ばないとは予想していませんでした。とてもレアなケースだと思います。なんで、私はひょっとすると、先の大戦でお亡くなりになった方々が、久しぶりの日本人にあえて、私に帰ってほしくない、とおもわれたのかしらん、という気持ちになりました。

ギゾではケネディ島や海に沈む東亜丸、ゼロ戦やコルセアといった戦跡をめぐってきました。もちろん、きちんとお線香をあげて、お供えのようかんももってきて、安らかにお眠りくださいと拝んでから、その戦跡に立ち入りました。

でも、インターネットのつながるところはホテルの玄関前なので、夜中や夜明けごろに、原稿を送るために人気のない玄関に行くのですが、なんとなく気配がするような気にもなるのです。

それで、馬鹿にされる方もいるかもしれませんが、金曜の夜は、土曜の飛行機が飛びますようにと、お部屋でお線香をあげて、心の中で、英霊の方々に、よかったら私についてきてください。靖国神社にご案内します、と心の中でいのってしまいました。

すると翌朝8時、オフィスにいくと、飛ばないと宣告されていた午前の飛行機が飛ぶといわれて、すぐに荷物をまとめてエアポートポート乗り場（ギゾはボートで空港に行くのです）にこい、というのです。

あまりの急展開にびっくり。

しかし、羽田に着くまで、無事に飛行機がつくかちょっと心配でした。

で29日朝、東京に帰りついたので、すぐにシャワーを浴びて着替えて、靖国神社にいつてきました。もし、ついてこられた英霊の方々がおられるのでしたら、ここで降りてください、と心に思いながら、お参りをして、帰りに、神社境内の食堂で、会津そばをたべてきました。